

授業概要

学習指導要領と教科用図書を基に、検定教科書を用いて行われる授業において、どのような目標を達成するためにどのような言語材料を用いて、どのような言語活動を行うことが期待されているか、マイクロティーチングや模擬授業を通して体験的に指導する。更に、英語の4技能（2能力）と異文化理解に関する授業展開について講義する。その上で、中学校の音声・文字指導において、1単元分の授業計画を立て、そのうち1単位時間分の模擬授業を指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	4技能の活動（1）：リスニング指導
第 3 回	4技能の活動（2）：スピーキング（やり取り・発表）指導
第 4 回	4技能の活動（3）：リーディング指導
第 5 回	4技能の活動（4）：ライティング指導
第 6 回	授業展開（1）：授業計画
第 7 回	授業展開（2）：教材研究
第 8 回	授業展開（3）：学習指導案の作成
第 9 回	授業展開（4）：授業の振り返り
第10回	教材・教具（1）：教科書
第11回	教材・教具（2）：副教材
第12回	教材・教具（3）：辞書
第13回	教材・教具（4）：教具
第14回	まとめ（1）：模擬授業と振り返り（1）：中学校の1単位時間分程度の音声授業
第15回	まとめ（2）：模擬授業と振り返り（2）：中学校の1単位時間分程度の文字授業
第16回	

到達目標

- ① 複数の領域を結び付けた統合的な言語活動の指導について理解し、指導に生かすことができる。
- ② 外国語（英語）の領域別の学習到達目標の設定・指導計画について理解することができる。
- ③ 外国語（英語）の学習指導要領・教科用図書について理解することができる。
- ④ 15分～20分のマイクロティーチングや45分～50分の模擬授業が行うことができる。

履修上の注意

外国語（英語）教職課程希望の履修者が望ましい。
「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」を履修済みで、「英語科教育法Ⅳ」を同時に履修することが望ましい。

予習・復習

- ① 授業で気付いたこと、学んだことを振り返り、記録をつける。
- ② 次の授業に備えて与えられた課題を行う。
- ③ 指導案を作成し、指導案に基づいて柔軟に授業を行えるように準備する。
- ④ 自己の英語力を高めるための学習を行う。

評価方法

レポート（30%）、指導案・模擬授業（40%）、授業態度（30%）

テキスト

テキスト
『新・グローバル時代の英語教育』、岡秀夫他、成美堂、ISBN: 9784791972180

参考資料等

『学習指導要領（小学校・中学校・高等学校）』『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』『学習指導要領解説 外国語編（中学校・高等学校）』、文部科学省